



Web連載

注目！がん看護における 最新エビデンス



細川 舞

岩手県立大学 看護学部 准教授
東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
緩和ケア看護学分野博士後期課程
がん看護専門看護師



宮下光令 教授

東北大学大学院 医学系研究科
保健学専攻 緩和ケア看護学分野

第41回

免疫チェックポイント阻害剤の 治療を受けている がん患者におけるCOVID-19ワクチンの (BNT162b2 mRNA：ファイザー社製ワクチン) 短期安全性

Waissengrin B, Agbarya A, Safadi E, Padova H, Wolf I. Short-term safety of the BNT162b2 mRNA COVID-19vaccine in patients with cancer treated with immune checkpoint inhibitors. Lancet Oncol.

2021 May;22(5):581-583. doi: 10.1016/S1470-2045(21)00155-8.

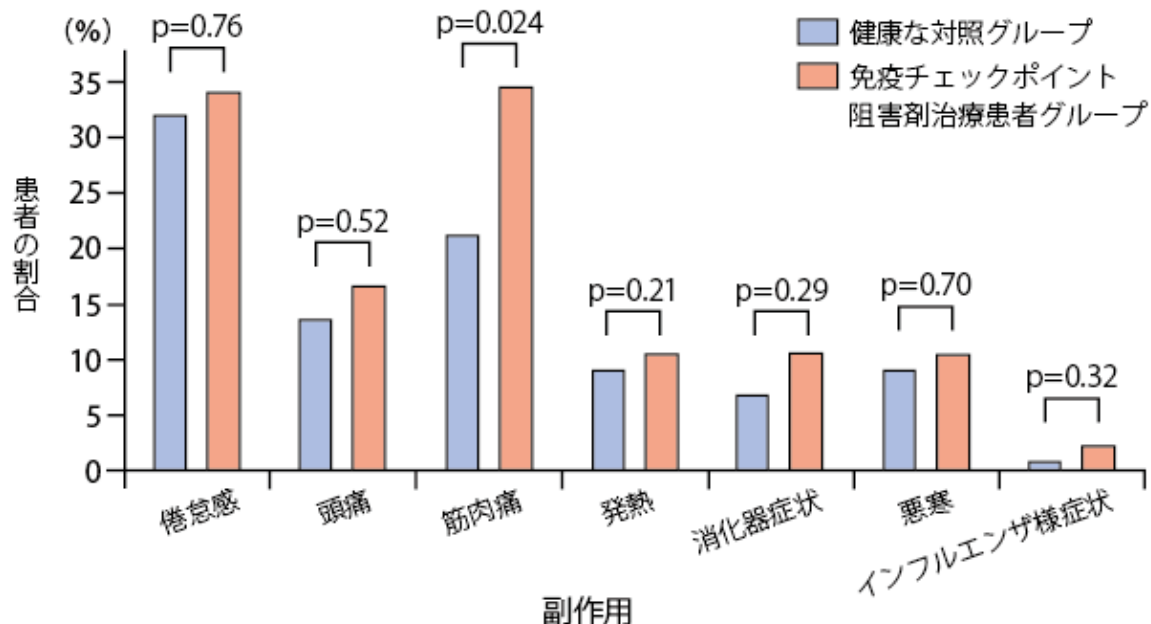
2018年に京都大学の本庶佑教授がノーベル賞を受賞されました。その受賞テーマが実用化されたものが免疫チェックポイント阻害剤で、現在、手術療法、化学療

法、放射線療法に続く第4のがん治療として成果を挙げつつあります。免疫チェックポイント阻害剤は従来の化学療法より副作用は少ないのですが、「免疫を強くする」ような作用があるので、それが「強くなりすぎてしまう」厄介な免疫関連有害事象を引き起こすことがあります。ワクチンは免疫系に作用するものですから、この免疫チェックポイント阻害剤を使用している患者がCOVID-19のワクチンを受けることで、免疫系やその他の思わぬ副作用が起こらないかと不安に思う人は多いと思います。

今回紹介するのは、免疫チェックポイント阻害剤による治療を受けているがん患者の新型コロナウイルスのワクチン接種に対する安全性を調べた研究です。

イスラエルで行われたこの研究では、肺がん、泌尿器科系がん、悪性黒色腫などで免疫チェックポイント阻害剤（ペムブロリズマブ：キイトルーダ[®]、ニボルマブ：オプジーボ[®]など）による治療を受けているがん患者で、ファイザー社製ワクチンの接種を受けた134人に、1回目、2回目の接種からそれぞれ2～3週間後に電話によるインタビューを行いました。

図 免疫チェックポイント阻害剤の治療患者グループと健康な対照グループの2回目ワクチン接種後の全身性副作用 (χ^2 乗検定結果)



図に、健康な対照グループと免疫チェックポイント阻害剤治療患者グループの全身的副作用の比較を示しました。筋肉痛以外の項目では、健康な対照グループと治療患者グループでは副作用の出現割合に大きな差はありませんでした。ワクチン接種前にグレード2以上（中等度以上）の免疫関連副作用を経験している患者は134人中47人（35%）いましたが、ワクチン2回目の接種後に全身性副作用を報告した患者

は、免疫関連副作用を経験していたグループと経験していなかったグループでは、出現に差はありませんでした（16人/47人（34%） vs. 30人/87人（34%）， $p=0.96$ ）。そして、免疫関連の副作用を過去に経験している患者もワクチンに関連した副作用の程度は軽く、入院やがん治療の中止をすることはありませんでした。これらの結果は、免疫チェックポイント阻害剤で治療を受ける患者の新型コロナウイルスワクチン（mRNAワクチン）の安全性を裏づけることになりました。また、免疫チェックポイント阻害剤の新しい免疫関連有害事象や、今まで経験していた免疫関連有害事象の悪化も観察されていませんでした。

今回のイスラエルの調査では、ファイザー社製の新型コロナウイルスワクチン（mRNAワクチン）による深刻なワクチン関連の副反応や、免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連の副作用の出現・悪化は観察されませんでした。今後さらに継続して大きな調査が行われれば、まれな副作用が発見されるかもしれません。しかし、治療中のがん患者のCOVID-19による高い死亡率を考えると、今回の結果は新型コロナウイルスの感染拡大時には免疫チェックポイント阻害剤で治療中の患者にワクチンを接種することは必要なことだと考えられます。

従来インフルエンザワクチンなどは弱毒化、もしくは無毒化した病原体（抗原）を接種し抗体を産生させるものでした。新型コロナウイルスのmRNAワクチンは体内で新型コロナウイルスのスパイクタンパク質を産生させ、それに対する中和抗体ができることで免疫ができます。そのため、ワクチンの作用機序を考えると、化学療法による治療（細胞障害性抗がん薬、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤を含む）中であってもワクチンの成分にアレルギーがない限りワクチン接種を検討することが勧められています。しかし、新型コロナウイルスワクチンは接種後2～3日以内に副反応が出現することが多いため、化学療法治療薬や免疫チェックポイント阻害剤投与は、可能であればワクチンの副反応の出現時期と治療薬投与の時期の調整を考えると望ましいようです。

今回紹介した論文は、2020年12月から2021年1月にかけて、イスラエルで行われたファイザー社製ワクチンを使用した調査の結果です。全世界でワクチン接種が進み、日本でもファイザー社製ワクチンのほかに、モデルナ社製ワクチン（mRNAワクチン）やアストラゼネカ社製ワクチン（ウイルスベクターワクチン）が承認されました。長期的安全性や新しく承認されたワクチンでのがん患者への安全性の確認も今後必要となるでしょう。ワクチン接種には有害な副作用もありますが、それを上回るメリットが多くあります。

ワクチン接種については、次のサイトなどもチェックしてみるとよいでしょう。

■日本癌治療学会・日本癌学会・日本臨床腫瘍学会（3学会合同作成）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とがん診療について（医療従事者向け）

Q & A（第3版）

<http://www.jsco.or.jp/jpn/index/page/id/2329>

■新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とがん診療について)

Q & A（患者さんと 医療従事者向け）ワクチン編第1版

<http://www.jsco.or.jp/jpn/index/page/id/2379>

■厚生労働省

新型コロナワクチン) Q & A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

今後もワクチン接種に関する最新の報告結果に目を向けて、がん患者のwithコロナを支援していくことが大切だと思います。

ほそかわまい：2000年3月国立高崎病院附属看護学校卒業。国立高崎病院（現・国立病院機構高崎医療センター）と国立療養所西群馬病院（現・国立病院機構渋川医療センター）で14年間看護師として勤務。2006年3月群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻修了。2009年がん看護専門看護師認定。東京慈恵会医科大学医学部看護学科で講師を務めた後、2018年4月より岩手県立大学看護学部准教授。2020年4月からは東北大学大学院医学系研究科博士後期課程保健学専攻緩和ケア看護学分野にも在籍。

みやしたみつのり：1994年3月東京大学医学部保健学科卒業，臨床を経験した後，東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻助手・講師を経て，2009年10月東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野教授。専門は緩和ケアの質の評価。

この商品の内容に関するお問い合わせは[仙台事務所](#)
お急ぎの場合は、TEL (022) 261-7660におかけください。
※土・日・祝は対応しておりません。

ご注文に関する内容・変更・追加などのお問い合わせは、
お客様センターフリーダイヤル0120-057671に
おかけください。

※本サービスは事情により予告なく終了することがございます。
あらかじめご了承ください。

[ページトップに戻る](#)



Copyright© nissoken. All Rights Reserved.

お客様センターフリーダイヤル 0120-057671